



シルバークラブ ふじえだ

平成23年9月5日

第46号

発行

社団法人

藤枝市シルバー人材センター

藤枝市藤枝五丁目3番20号

☎054-641-5565

会員数 男724名・女407名

計 1,131名 (7月31日現在)

印刷 株式会社石垣印刷

田中城下屋敷の歴史

語りべで活躍の会員



田中城下屋敷は、今から約五百年程前、今川氏の命を受けて田中城の築城を果たした豪族一色家の屋敷跡だともいわれています。

田中城の南東隅にあたり、江戸時代後期になると城主の下屋敷（別荘）が置かれ、築山、泉水、茶屋等を設けて四季の景色を楽しんでいたようです。現在でも緑豊かな庭園が広がり、月見の時には、琴の音が人々の心を和ませてくれます。

史跡には、県内外からも多くの歴史愛好家が訪れています。その案内役として、説明を担当しているのは、シルバー人材センターの会員で、通常八名の会員の方が、交代で説明と、管理を受けもっております。

広い駐車場も設置されており、藤枝市の歴史に触れながら散歩を楽しむのもいかがでしょうか。

(注・月曜日は休場日です)

第五十四回の総会が、多くの会員の皆様と、ご来賓として北村藤枝市長をはじめ、池田市議会議長、落合・佐野県議会議員のご臨席をいただき、盛会に開催できますことをお礼申し上げます。



藤枝市シルバー人材センター 理事長 大井市郎

このようなシルバーを取り巻く環境が早く改善することを願い、全国の会員・百十五万人余の署名を添えて政府や関係省庁に要望書を提出し、高齢者支援の面からもわれわれの事業への理解と援助を強く要望いたしました。

この総会は、平成二十二年度を総括して、事業報告や収支決算のご審議お願いするものでありますが、藤枝市からはシルバーに対して、大変ご協力をいただいております、心から感謝申し上げます。

さて、ここ数年をふり返って見ますと、藤枝市のことだけではなく全国のシルバー人材センターにとって、厳しい年が続いています。

その原因は、わが国が長い経済不況からなかなか抜け出すことが出来ないこと、また、国・県等の事業仕分けなどによって、補助金の見直しが行なわれていることなどでありま

高齢者の生きがい シルバーで働く喜び

藤枝市のご支援に感謝

藤枝市シルバー人材センター 理事長 大井市郎

さて、平成二十三年度は藤枝市シルバー人材センターの「中长期計画」がスタートします。

この計画は、私たちが共働・共助の理念をもって、平成三十二年度まで、十年間のシルバー人材センターを発展させる基本となるものです。

自らの生きがい・働く喜びを築くために、この計画を会員の皆様と共に推進したいと思っております。

今後ともご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

次期画 第二中計

仕事が生かす元氣なシルバー

第二次中长期計画は、本年度から平成三十二年までの藤枝市シルバー人材センターが目指す基本構想です。

この十年計画の内容は、藤枝市政の基本方針である「元氣なまち藤枝づくり」の一翼を担うもので、私たちシルバー会員の目標です。

私たちが会員の一人ひとりがこの目標に向かって、自分の健康維持に努めながら、豊富な人生経験や知識・そして、多様な技術を活かし、地域社会に貢献しながら、生き生きとした人生を送り、会員としての自覚と誇りをもって、藤枝市シルバー人材センターの発展と、自らの幸せのために頑張りましょう。

第五十四回 通常総会

事業報告・収支決算や 役員改選の議案を承認

第五十四回の通常総会が、六月十八日（土）に開催されました。この総会では、平成二十二年度の事業報告と収支決算の承認のほか、平成二十三年度が役員改選期でありますので、理事・監事を選任する議案や、平成二十四年四月から公益法人に移行するため、新たな体制づくりの議案などが提案され、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、シルバー人材センターの発展にご尽力いただいた役員に感謝状と、多年ご活躍いただきました会員の皆様の表彰を行いました。

事業報告

前年度並みの 実績確保

日本経済の本格的な回復や雇用環境の好転を期待していますが、景気の先行きは依然として厳しい状況が続きます。

更に年度末の三月に、東日本大震災に見舞われ、わが国

全体が復旧・復興の大きな課題を担っています。

このように、平成二十二年度は大変な年でありましたが、事業実績は一部の仕事が増減したものの役員・会員の皆様の努力によって、前年度並みの事業実績となりました。

これからは、将来に向けて健全な財政運営を確立するために、歳入の確保・歳出の見直し・組織の在り方などにつ

公益法人への 制度改革に向けて

平成二十四年四月に「公益社団法人」に移行するための定款改正など、制度改革の準備を行ない、県知事への許可

申請事務をすすめています。
この新制度の改正内容は、



前回の総会で説明しました
が、会員の皆様のために、よ
り活動に参加しやすい組織に
することが大切であり、その
ために、今までの体制につい
て見直しを行ないました。

改正した主な項目は、セン
ターの厳しい運営状況などを
改善するために、・会費の値
上げ・発注者からいただく事
務費率の改定・互助会への助
成金の廃止・互助会の慶弔規
程や役員の費用弁償規定の改

定などを行ない、公益法人の
基本理念にそって、平成二十
三年度から実施していきま
す。

活動の内容

◆会員数

会員の増員については、就
業の機会を開拓することに努
めながら、入会説明会を毎月
開催して、会員の拡大を図り
年度末の会員数は、一千百十
六名となっております。

◆就業機会の開拓と確保

高齢者に相応しい仕事を確
保するために民間企業、自営
業者等を訪問して、センター
のPRと受注に努めました。
一年間の受注件数は、七千
九百九十五件・会員の就業延
日人数は九万六千九百五十二
人でした。

また、未就業会員の相談会
や無料職業紹介などを行ない
就業の促進に努めました。

◆安全就業への徹底

会員一人ひとりの交通事故
防止や、業務中の事故防止の
ために、安全適正就業研修会
などを開催して安全意識の高
揚を図りました。

◆事務事業の円滑な運営

会員と役員が、専門委員
会や班長会を開催して、全般
的な事業運営の連携を密にし
る研修などを実施しました。

◆介護保険事業の推進

当センター内に、居宅介護
支援事業所と訪問介護事業所
を開設して、利用する家族に
適した介護サービスを提供し
ており、シルバーだからこそ
の安心感・きめ細やかな心く
ばりに配慮したサービスを提
供しています。

事業の実績は、介護保険制
度の改正やデイサービス施設
の充実などにより、在宅介護

から施設利用が多くなり、訪
問する回数・件数は、やや減
少しています。

◆福祉・家事援助の サービス事業

介護保険の対象にならない
利用者の福祉・家事援助サー
ビス事業を充実するために、
会員の介護講習会や料理講習
会を実施して、サービス内容
の向上に努め、また、少子化
対策として「子育て講習会」
を開催して、有資格者の確保
を図りました。

◆福利厚生

多数の会員が参加する事業
として、会員互助会に委託し
て行なう親睦旅行や、サーク
ル活動を実施しました。

☆ ☆
そのほか、シルバーの円滑
な運営を協議する各種の会議
(理事会・専門委員会・班長
会など)の開催や、シルバー
のPR・会員とのコミュニ
ケーションづくりの広報活動
を実施しました。

◆会員互助会の総会

この総会に引続いて、会員
互助会の第十七回定期総会を
開催して、平成二十二年度の
事業と決算の報告、そして平
成二十三年度の事業計画と予
算が承認されました。

こんなに大勢の皆様がお集
まりになり、総会が盛大に開
催され、また会員のお元気な
様子を拝見しまして、私も大
変うれしく思っております。

皆様方には、常日頃から市
政全般にわたり大変なご理解



地域産業を支える シルバーの貴重な労働力

藤枝市長 北村 正平

とご協力をいただき、そして、
シルバー事業で活躍されてお
りますことに、心から敬意を
表します。

先程、大井理事長から国・
県の事業仕分けで、シルバー
の運営費が削減されたことを
話されましたが、藤枝市も国

や県からの補助金が大幅に減
らされました。しかし、藤枝
市はシルバーへの援助は減ら
しません。

この考えは、本来ならば藤
枝市も国や県に連動すること
が、今までの考え方ですが、

発から三〇軒圏内にあるこ
とから、志太・榛原・中遠
地域などの首長が集まり、
地域住民の安全、安心を協

議して国や保安委員会など
に、防災対策を強く申し入れ
ていく事を考えています。

結びに、シルバー人材セン
ターの益々のご発展と皆様の
ご健康を切にお祈り申し上げ
ます。
皆様方、頑張って下さい。

皆様の事業は、生きがい対策・
労働力の確保対策であり、地
域産業の振興に大きく貢献し
ている事業です。藤枝市が掲
げている「元気なまち ふじ
えだ」が目指す目的と同じで
あります。
会員一千人を超す底力のあ

